

* 神戸港と神戸文化の企画展－神戸 みなと 時空－*

「鈴木商店記念館」第5回講演会のご案内

【居留地貿易と鈴木商店】

神戸は、1868年1月1日(慶應3年12月7日)開港し、外国人居留地が開設され、多くの外国商人が来神、貿易がはじまった。

初代鈴木岩治郎は、洋糖取引のため大阪の砂糖商「辰巳屋」が神戸弁天浜に設けた出張所に雇われ、やがてこの店を譲られ、鈴木商店が誕生する。

当時の貿易は、輸出は日本人商人(売込商)が居留地の外国商人に商品を持ち込み、輸入は日本人商人(引取商)が外国商人から商品を引き取るという方法で行われ、主導権が外国商人に握られていた。鈴木商店の金子直吉が、外国商館への樟腦の先物売りで大失敗をし、ハラキリを覚悟で外国商館をまわって交渉し、損害を最小限に食い止めた話は有名である。やがて海外に代理店や支店を設け、外国商人に頼らず、直接貿易を行うようになる。ここでは発足から居留地貿易時代の鈴木商店の足跡をたどる。

- 日時……平成29年9月9日(土) 14:00～15:00
 - 場所……KIITO(デザイン・クリエイティブセンター神戸) 303室
 - 定員……先着80名(当日、13時より1階受付カウンターにて申込受付を行います。)
- ※「神戸港と神戸文化の企画展－神戸 みなと 時空－」の当日分入館券をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます
- 講師……神木哲男 氏

<神木哲男氏のプロフィール>



昭和9年生まれ。昭和34年神戸大学経済学部卒業。経済学博士。昭和53年同教授、経済学部長、副学長を歴任。神戸大学名誉教授。平成10年中京大学経済学部教授、奈良県立大学学長を歴任。社会経済史学会顧問、NPO 法人神戸外国人居留地研究会理事長を務める。

兵庫県文化賞(平成27年)、神戸市文化賞(平成28年)受賞。

著書に『日本中世商品流通史論』、『神戸居留地の3/4世紀』、『歴史海道のターミナル－兵庫の津の物語－』、『神戸と居留地－多文化共生都市の原像－』など多数。

- お問い合わせは、神戸市みなと総局技術部計画課まで

TEL : 078-322-5678 FAX : 078-322-6127

* 神戸港と神戸文化の企画展－神戸 みなと 時空－*

- 期間…2017年1月25日(水)～12月28日(木)
- 会場…KIITO(デザイン・クリエイティブセンター神戸) ○開館時間…10:00～17:00
- 休館日…月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)
- 入館料…一般(高校生以上)=500円・中学・小学生=200円
- 主催…神戸市 ○協力…日本玩具博物館、陳舜臣アジア文藝館、辰巳会 鈴木商店記念館